

災害廃棄物処理現場における 課題等について

(派遣開始から終了まで)

一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会

(持続コン協 [SuSPCA](#))

藤塚哲朗

技術者派遣の現状について (その1)

- 災害発生は時間的空間的に突発的
- あらかじめ派遣場所及び派遣時期の想定は困難であり
- 派遣準備に要する時間がほとんどないこと

技術者派遣の現状について (その2)

- 近年の災害は激甚、かつ、ほぼ同時に頻発
- 連続して複数の技術者を多方面に同時に派遣する必要があること

技術者派遣の現状について (その3)

- チーム派遣が基本
- 技術の伝承のためには経験技術者と未経験技術者を組み合わせて派遣することが理想
- 現実的に単独派遣となってしまう場合も

技術者派遣の現状について (その4)

- 被災直後は政府・地元自治体を含め現地の状況が不明なことが多いこと
- 進入道路の啓開を待つ必要があり、現地立ち入りができない場合もあること
- 派遣チーム単独で解決できる問題以外にも派遣チーム自体の能力では十分対応できない場合もあること

技術者派遣の現状について (その5)

- 被災後、時間経過とともに現地でのニーズも変化・多様化
- 初期派遣チームと後期派遣チームではニーズが異なることも
- 人材の多様化が求められる場面も

1. 初動・応急対応
(初期対応)

2. 復旧・復興対応
(中長期対応)

3. 平時の機能・役割



環境省
D.Waste-
Net
による支援

【専門家・技術者派遣】
被災状況の確認、仮置場の確保、
災害廃棄物の分別、適正処理に関
する現地支援（現地調査、助言）
等

災害廃棄物量の推計
災害廃棄物処理実行計画の策定
二次仮置場及び中間処理・最終
処分先の確保に対する技術支援
等

持続コン協
による支援
(初動支援)

【専門家・技術者派遣への参加】
環境省、D.Waste-Net事務局からの支
援要請に基づき、技術者を派遣

【コンサルタント業務項目の提示】

会員企業
による個別支援
(コンサル業務契
約)

【契約後の支援業務】
・被災状況調査・解析
・災害廃棄物処理実行計画作成支援、処理計画検
討
・災害廃棄物処理業務発注支援、処理業務進行管
理
・二次仮置場整備計画設計 等

初動支援

(専門家・技術者派遣への参加)

- 被災状況の確認
- 仮置場の確保
- 災害廃棄物の分別
- 適正処理に関する現地支援
(現地調査、助言)

- 被災状況確認 (巡回、情報収集)
- 仮置場の運営支援 (巡回、状況確認、助言)
- 広報資料作成支援 等

応急～復旧・復興期の支援業務(1)

- 被災状況及び災害廃棄物発生量調査・解析

- 災害廃棄物発生量調査
(現地測量、解析等)
- 災害廃棄物量の推計

被災地域と建築物の解体・撤去

- 災害廃棄物処理実行計画策定のために関連情報が重要
- 解体・災害廃棄物処理に係る契約支援が必要
- 住家等の被害認定に係る支援が必要
- 派遣技術者の多様性・専門性

応急～復旧・復興期の支援業務(2)

- 災害廃棄物処理実行計画作成支援、処理計画検討
- 災害廃棄物量の設定
- 災害廃棄物処理方針の検討
- 災害廃棄物処理フロー・方法の検討
- 処理スケジュールの検討
- 災害廃棄物処理実行計画策定

応急～復旧・復興期の支援業務(3)

● 災害廃棄物処理業務発注支援

- 基礎データの整理及び追加調査
- 処理計画策定
- 処理業務発注仕様書作成、要求水準書作成
- 発注方法検討
- 処理業者見積徴収、事業費積算
- 提案書評価支援

応急～復旧・復興期の支援業務(4)

- 災害廃棄物処理監理

- 現場管理
- 環境管理
- 実績・精算管理

応急～復旧・復興期の支援業務(5)

- 二次仮置場整備計画設計

- 仮置場候補地選定
- 二次仮置場計画・設計・工事費積算
- 工事発注支援

課題及び対応等について

(その1)

派遣者の安全管理の徹底(2次災害の防止)

ロジスティックスについて

- 派遣技術者には自己完結型の活動が望まれる。
- 現地での移動手段の確保、
- 特異な道路路交通状況の下での運転が必要
- 動画の撮影等自動車移動中に必要な作業も発生
- 交通事故に遭うリスクも高くなっている。

課題及び対応等について

(その2)

派遣者の安全管理の徹底(2次災害の防止)

現場環境下での活動について

- 激変する気候・気象下での活動
- 気候・気象の激変には活動の中止を含む判断も
- 局所的な気候・気象状況に関する情報の入手・共有方法、現場での緊急連絡網の整備、万が一の時の退避ルートの確認・確保、退避が間に合わないときのシェルターの確保

課題及び対応等について

(その3)

派遣者の安全管理の徹底(2次災害の防止)

高温多湿下での活動について

- 災害現場では長袖・長ズボンの作業着、長靴(安全靴)、手袋(軍手等)、ヘルメット(帽子)、マスク(防塵含む)、ゴーグル等の着用が必要
- 災害現場は直射日光下・炎天下のことも多く、派遣される技術者にとっては熱中症予防及び対策が極めて重要

課題及び対応等について

(その4)

高温多湿下での活動について

- 災害現場では長袖・長ズボンの作業着、長靴(安全靴)、手袋(軍手等)、ヘルメット(帽子)、マスク(防塵含む)、ゴーグル等の着用が必要
- 災害現場は直射日光下・炎天下のことも多く、派遣される技術者にとっては熱中症予防及び対策が極めて重要

課題及び対応等について

(その5)

適切な人員の確保と配置

- 突発的な災害に対応した派遣は、十分な経験を有する技術者を揃えることが困難な場合も多い
- 事前に実施すべき作業内容を整理しマニュアル化等が可能であれば、幅広い技術者が対応可能
- 適切な人員を適時に派遣するためには、幅広く技術者の事前登録制や派遣地域事前分担制などを検討することも必要

課題及び対応等について (その6)

関係機関との連絡体制・情報共有の充実

- 効率的な活動のため、D.Waste-Net活動に関する情報を全国の自治体や関係者に広く周知する広報戦略
- 関連情報の共有体制構築派遣地域事前分担制等の検討

課題及び対応等について

(その7)

必要な資機材の確保

- 各団体に準備する資機材等を事前に整理
- これらの資機材は、必要に応じて各メンバーで事前に手配
- 関連情報の共有体制構築派遣地域事前分担制等の検討

ありがとうございました。

一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会
(持続コン協 [SuSPCA](#))
藤塚哲朗